

## 第2学年 国語科学習指導略案

1組 計22人(男子13人, 女子9人)  
指導者 山口 紗織

1 単元 分かりやすくせつめいしよう  
(教材「おもちゃの作り方」光村2年下)

2 単元の目標 文章の構成や説明の順序を考えながら、読む人に分かりやすく伝わる「おもちゃの説明書」を書くことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	B 書く能力	言語についての知識・理解・技能
「おもちゃの説明書」作りに意欲的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明書を書くために必要な事柄を集めている。【(1)ア】</li> <li>・ 順序に沿って簡単な構成を考えている。【(1)イ】</li> <li>・ 絵や写真と対応させながら、つながりのある文や文章を書いている。【(1)ウ】</li> <li>・ 「おもちゃの説明書」を読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合っている。【(1)オ】</li> </ul>	言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。【(1)イ(ウ)】

4 単元の位置とねらい

これまでに子供たちは、「こんなもの、見つけたよ」や「お話のさくしゃになろう」の学習で、体験したことや想像したお話を書く学習に取り組んできた。また、「しかけカードの作り方」を読む学習を通して、物の作り方を説明した文章を、説明の順序に気を付けて読む学習をしてきている。

そこで、本単元においては、「B書くこと ウ 身近な物事を簡単に説明する文章を書く」言語活動として「おもちゃの説明書」を書く活動を位置付ける。生活科の学習である「山下まつり」において、1年生に作ってもらおう手作りおもちゃの作り方について、「前書き・材料と道具・作り方・遊び方」の構成で書くことで、1年生が楽しくおもちゃ作りに取り組むことができる分かりやすい説明書を書くことができるようにする。その際、作り方を作業の工程に沿って順序よく書いたり、絵や写真と文を対応させながら書いたりすることができるようにする。

この学習は、楽しかったことの中心が明確になるように、「はじめ」、「中」、「終わり」の構成でまとまりのある文章を書く「楽しかったよ、2年生」の学習につながっていく。また、本単元で書いた「おもちゃの説明書」は、生活科の「山下まつり」の学習につながっていく。

5 本時(7/7)

前時までに子供たちは、「山下まつり」で1年生に作ってもらおう「おもちゃの説明書」を書き、推敲してきた。

(1) 目標

書くための観点に着目しながら、互いの「おもちゃの説明書」を読み合い、分かりやすく説明されているか、どうすればより分かりやすい説明になるか考えることができる。

(2) 指導に当たって

ア 対話を重視した「学び合い」【研究内容1】

(ア) 学年や学習内容に応じた対話を重視した「学び合い」の設定

互いの「おもちゃの説明書」を読み合いながら、実際におもちゃを作り合う「学び合い」を設定する。作ったおもちゃを互いに見せ合いながら意見を交流することで、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(イ) 子供同士で考えを広げたり深めたりするための手立て

書くための観点(「順序」、「文のまとまり」、「何を、どのように」、「文と絵のつながり」)に沿って互いの「おもちゃの説明書」を読み合うことで、「学び合い」の視点を明確にし、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

イ 学びの自覚を促し、次につなぐ学習指導の工夫【研究内容2】

(ア) 学びの自覚を促す手立て

「高める・味わう」過程において、どのように加除修正したか、なぜそのように修正したのか問い掛けを行い、書くための観点に基づいて加除修正できていることを価値付けすることで、学びの自覚を促すようにする。

(イ) 次につなぐ手立て

昨年度の「山下まつり」で2年生が1年生におもちゃの作り方を説明している様子の写真や、「山下まつり」を楽しみにしている1年生からのビデオメッセージを視聴することで、本単元の学びを生活科で活用・実践することへの意欲を高めることができるようにする。

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導
つかむ・見通す(5)	<p><b>1 これまでの取組を想起し、本時の学習内容について話し合う。</b></p> <p>前時で自分の「おもちゃの説明書」が完成したよ。</p> <p>自分が書いた「おもちゃの説明書」が本当に伝わるのか友達に読んでもらいたいな。</p> <p><b>2 本時の学習課題を立てる。</b></p> <p>より分かりやすい「おもちゃの説明書」にするには、どのような工夫をすればよいかな。</p>	<p>○ 学習計画表を基に、これまでの学習を振り返りながら、分かりやすく書くための四つの観点（「順序」・「何を、どのように」・「文のまとまり」・「文と絵のつながり」）を意識しながら互いの説明書を読み合うことを確認することで、説明書のどこを見直し、工夫すればよいのか考えるという見通しをもって学習を進めることができるようにする。</p> <p>☆ プレゼンテーションソフトを使って、「学び合い」の進め方を提示することで、解決の見通しをもつことができるようにする。</p>
調べる・深める(20)	<p><b>3 解決の見通しを全体で確認する。</b></p> <p><b>4 友達の書いた「おもちゃの説明書」を読みながらおもちゃを作る。</b></p> <p><b>5 友達が作ったおもちゃを見て、何が伝わっていなかったのか、どのように書けばよいのかを考える。【ペアでの「学び合い」】</b></p> <p>自分が書いた「おもちゃの説明書」は友達に伝わっていましたか。作ってみて説明が分かりにくかったところはありませんでしたか。</p> <p>テープをどこに貼ったらよいのか分かりにくかったよ。</p> <p>ここに貼ればよいのだけど、どうして伝わらなかったのかな。</p> <p>「紙コップの底の真ん中に貼ります。」って書いたらどうかな。</p> <p>それはよい考えだね。付け加えてみるよ。</p>	<p>○ 友達が書いた「おもちゃの説明書」を読みながら、おもちゃを作ることで、「作り方」が分かりやすく説明されているか互いに確かめ合うことができるようにする。</p> <p>○ ペアでの「学び合い」において、互いに作ったおもちゃを見ながら、説明の仕方でも分かりやすかった文のまとまりにシールを貼ったり、不十分なところについて話し合ったりすることで、加除修正を加えることができるようにする。</p>
まとめる・広げる(10)	<p><b>6 どのように書き直すことで分かりやすい「おもちゃの説明書」になったのかを全体で話し合う。【全体での「学び合い」】</b></p> <p>友達の「おもちゃの説明書」を読んで、分かりやすく説明できているところはありませんでしたか。</p> <p>○○さんの説明の「…」が分かりやすかったので、上手におもちゃを作ることができました。</p> <p>自分の説明書をどのように書き直しましたか。</p> <p>わたしの「おもちゃの説明書」の「…」の説明がよく伝わっていなかったので、△△さんに「『…』と書いたら。」と教えてもらって「…」と書き直しました。</p> <p>○○さんは、「何をどのように」の観点で、詳しく書くことで、より分かりやすい「おもちゃの説明書」にすることができたんですね。</p>	<p>◆ ペアや全体での「学び合い」を基に「おもちゃの説明書」に加除修正をすることができる。【書く能力:発言,「おもちゃの説明書」】</p> <p>○ 書くための四つの観点に沿った加除修正を行っている子供に対して意図的指名を行い、どのように加除修正したか、なぜそのように修正したのか問い掛けを行った上で、価値付けすることで、本時における学びを自覚することができるようにする。</p> <p>○ 全体の「学び合い」を通して広がったり深まったりした考えを基に、自分の説明書を更に加除修正したり、自己評価の五観点「わかったこと」、「できるようになったこと」、「変わったこと」、「生かしたいこと」、「もっとがんばりたいと」で単元の学習を振り返ったりすることで、自己の学びのよさや課題を自覚することができるようにする。</p>
高める・味わう(10)	<p><b>7 全体での「学び合い」の結果を基に、個人で書き直す。</b></p> <p><b>8 学んだ結果と過程を振り返る。</b></p> <p>㊦ 「何を、どのように」を詳しく書くことで、より分かりやすい説明書になることが分かりました。</p> <p>㊧ 説明の順序を考えながら、分かりやすい説明書を書くことができました。</p> <p>㊨ ○○さんに教えてもらって、「…」と書き直しました。</p> <p>㊩ 生活科「山下まつり」で生かしていきたいです。</p> <p>㊪ 次の書く単元では、文のまとまりを考えながら、順序よく説明することができるようになりたいです。</p> <p><b>9 自覚した学びを他教科につなぐ。</b></p> <p>この単元で書いた「おもちゃの説明書」を使って、生活科「山下まつり」で1年生におもちゃの作り方を分かりやすく説明したいな。</p>	<p>☆ 昨年度の「山下まつり」で2年生が1年生におもちゃの作り方を説明している様子の写真や、「山下まつり」を楽しみにしている1年生からのビデオメッセージを視聴することで、本単元の学びを生活科で活用・実践することへの意欲を高めることができるようにする。</p> <p>◆ 友達に分かりやすく伝わるように工夫して書くことができた実感することができ、他教科でも生かそうとしている。 【関心・意欲・態度:発言,ノート】</p>



第2学年「おもちゃの作り方」本時（7／7）における「学び合い」想定シート

「学び合い」の目的

より分かりやすい「おもちゃの説明書」にするために、どのような工夫をすればよいかという学習課題について、自分の考えを広げたり深めたりするため。

「学び合い」の方法

形態	ペア→全体	思考を可視化する手立て	「おもちゃの説明書」、板書
----	-------	-------------	---------------

「学び合い」で期待される子供の姿

強固	自分が書いた「おもちゃの説明書」を読みながら友達が完成させたおもちゃを見たり、文のまとまりごとにシールを貼ってもらったりすることで、「作り方」の説明を分かりやすく書くことができたこと、自信をもつことができた。
----	--

付加	自分が書いた「おもちゃの説明書」を読みながら友達が作ったおもちゃが未完成であったり、誤った手順で作られたりしていることに気付いた。また、シールを貼ってもらっていない文のまとまりがあり、「作り方」の説明が不十分であることに気づき、友達からの助言を基に、説明を加除修正した。
----	---

修正	自分が書いた「おもちゃの説明書」を読みながら友達が作ったおもちゃが未完成であったり、誤った手順で作られたりしていることに気付いた。また、シールを貼ってもらっていない文のまとまりがあり、「作り方」の説明が不十分であることに気づき、友達からの助言を基に、説明を加除修正した。
----	---

「学び合い」の手順

ペア	○ 互いが作ったおもちゃを見ながら説明の仕方でも分かりやすかった文のまとまりにシールを貼ったり、不十分などころについて話し合ったりする。 ○ 話し合ったことを基に加除修正を加える。
----	---

全体	どのように書き直すことで分かりやすい「おもちゃの説明書」になったのかを発表し合う。
----	---

全体での「学び合い」の想定

課題解決で働く  
言葉による見方・考え方



友達の「おもちゃの説明書」を読んで、分かりやすく説明できているところはありませんでしたか。

〇〇さんの説明が分かりやすかったよ。「3センチ切ります。」と書いてあったので、どのくらい切ったらよいかすぐに分かったよ。



「長さ」が書いてあったらどのくらい切ったらよいかすぐに分かるね。

△△さんは、絵と文のつながりがはっきりしていたので、説明を読みながらどうするのかすぐに分かったよ。



自分の説明書をどのように書き直しましたか。

わたしは、「紙を貼ります。」の説明がよく伝わっていなかったため、□□さんに「どこに貼るのか場所を書いたらいいと思うよ。」と教えてもらって「紙を箱の上に貼ります」と書き直したよ。



ぼくもゴムを何回巻くのか、書いていなかったため、「3回巻きます。」と書いたよ。



書くための観点に沿って、詳しく書くことで、より分かりやすい「おもちゃの説明書」にすることができましたね。

書くための観点である「順序」、「文のまとまり」、「何を・どのように」、「文と絵のつながり」等に着目しながら、実際におもちゃを作ったときにどの説明が分かりやすかったか考える。

書くための観点である「順序」、「文のまとまり」、「何を・どのように」、「文と絵のつながり」等に着目しながら、どのような説明にすれば分かりやすくなるか考える。

